

天満屋倉敷店 2016年11月の画廊予定

◎4階美術画廊

会 期	内 容
10/28(金)～11/3(木・祝)	<p>帰倉三十年記念 岡島光則陶芸展</p> <p>倉敷市在住の陶芸家・岡島光則先生の新作品展です。穴窯とガス窯を使い分け、焼き締め陶から釉薬を用いたポップな色調の作品までこなし、前衛的要素を含んだ造形には定評があります。置いているだけでもオブジェになるような造形的な花器や普段使いの茶碗やカップ、皿に小鉢などの食器も含め、約70点を出品いたします。</p>
11/4(金)～11/10(木)	<p>藤田武志・久美子 漆二奏展 ～彩漆画の世界～</p> <p>徳島市在住の漆工芸家 藤田武志・久美子ご夫妻の作品展です。従来の漆のイメージを覆すざっくりとした肌合いとつや消しの塗り、彩り豊かで明るい色調の作品の数々を一堂に展覽いたします。土と漆を混ぜて作る下地を荒い刷毛目で地模様とし、その凹凸を活かして独特のドライな質感を生み出しています。ダイナミックな彩漆画は蒔絵と螺鈿を使って描かれ、日本画や油絵とは違った味わいがあります。重箱・屠蘇器揃えに加え、今の暮らしの中で楽しめる装身具・ボールペンなど約80点を出品いたします。</p>
11/11(金)～11/17(木)	<p>オールドノリタケの世界展</p> <p>明治中期から1900年代初期にかけて、主にアメリカやヨーロッパへ向けた輸出品として製造されたオールドノリタケは、当時の職人達が輸出先の趣向を取り入れ、試行錯誤を繰り返して作り上げた非常に優れた技術と芸術的なセンスが織り込まれた美術品の域に達した陶磁器です。芸術的な絵付けと繊細な細工で今なお収集家を魅了し続けているオールドノリタケの花瓶、絵皿、食器など約100点を一堂に展覽いたします。</p>
11/18(金)～11/24(木)	<p>木原幸子「夢を紡ぐ人形たち」 — 秋いろダイアリー —</p> <p>倉敷市茶屋町在住の人形作家・木原幸子先生の新作品展です。先生が作るお人形は、布の風合いを大切に布貼りのお人形で、穏やかで温かく、また手仕事ならではの落ち着いた印象の創作人形です。古布などを多用し上品で清楚な顔立ちの作品は多くのファンがいらっしゃいます。今展では、先生らしい洋風のお人形を中心にレリーフなど約40点を出品いたします。</p>
11/25(金)～12/1(木)	<p>黒明宗太 洋画展</p> <p>倉敷市児島在住の洋画家・黒明宗太先生の新作品展です。先生は日展系洋画団体・白日会の会員として県内を中心に活躍するかたわら日展でも入選を重ねて来られ、2002年には倉敷市文化連盟奨励賞を受賞されています。1984年に洋画グループ「青翠会」を結成、主宰され、後進の指導も積極的に行っており、温厚な人柄で生徒も多くいらっしゃいます。今展は油彩・水彩の近作約40点を展覽いたします。</p>

営業時間 午前10時～午後7時30分

いずれも会期最終日は、午後4時に閉場いたします。

※会期・タイトルは都合により変更することがあります。

※出品内容に変更がある場合があります。

お問合せ

天満屋倉敷店 販売計画

TEL 086-426-2205

FAX 086-426-1136